

「看護職の実習指導に関わる研修企画」 アンケート結果

調査に至った経緯 1

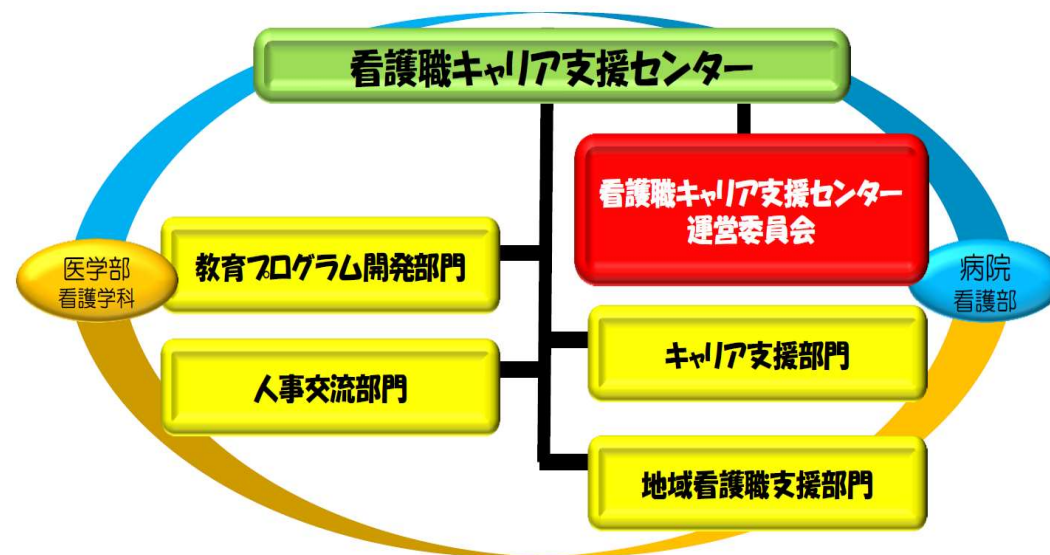


平成31年3月に **旭川医科大学 看護職キャリア支援センター** は、
医学部看護学科と病院看護部が連携・協働のもと、専門職業人
としての看護職のキャリア開発や生涯学習を支援し、看護の質
の向上を図ることを目的に設立した。



調査に至った経緯 2

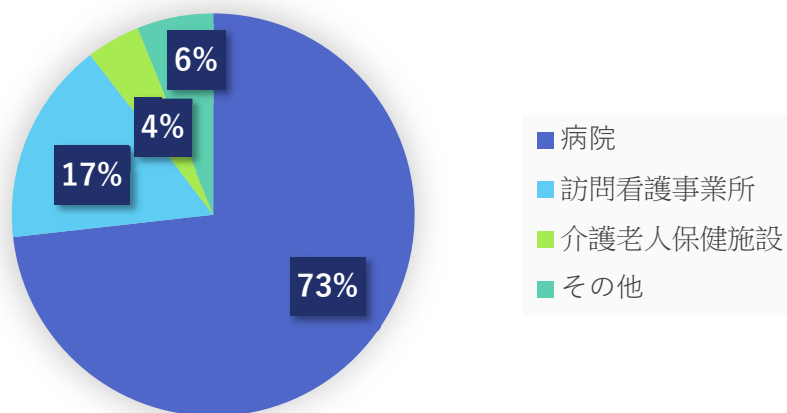
看護職キャリア支援センターの4部門の1つである教育プログラム開発部門では、令和元年12月に市内の医療施設に勤務している看護職を対象に「看護職の実習指導に関わる研修企画」調査を実施し、どのような研修が望ましいのか検討した。



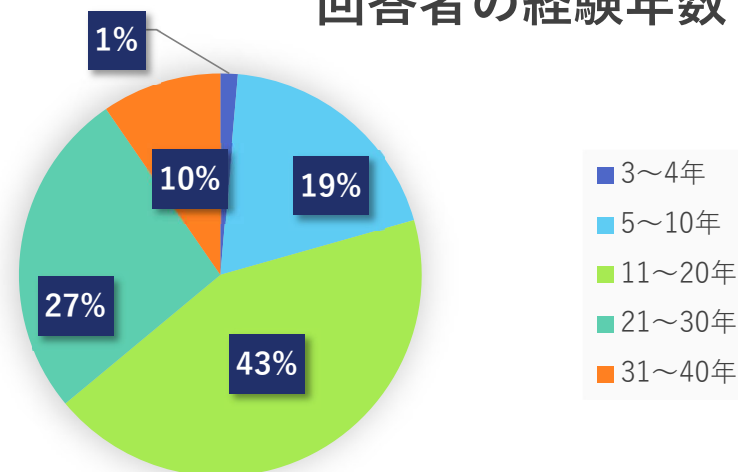
調査結果1

市内の病院、訪問看護事業所、介護老人保健施設の看護職208名（回収率 約37%）
から回答を得た

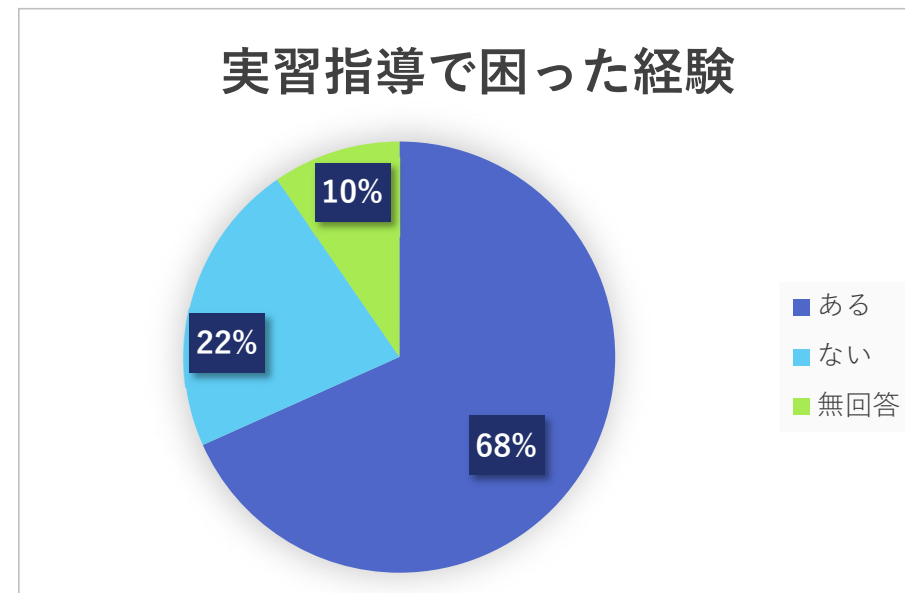
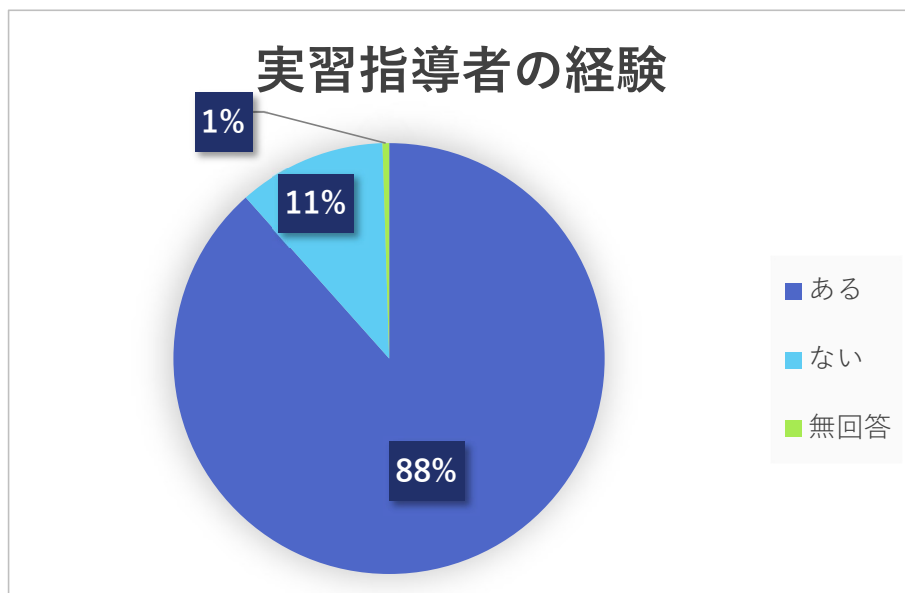
回答者の属性



回答者の経験年数



調査結果2-1



「ある」の回答はすべて実習指導者の経験があった



調査結果2-2 実習指導で困った経験の内容

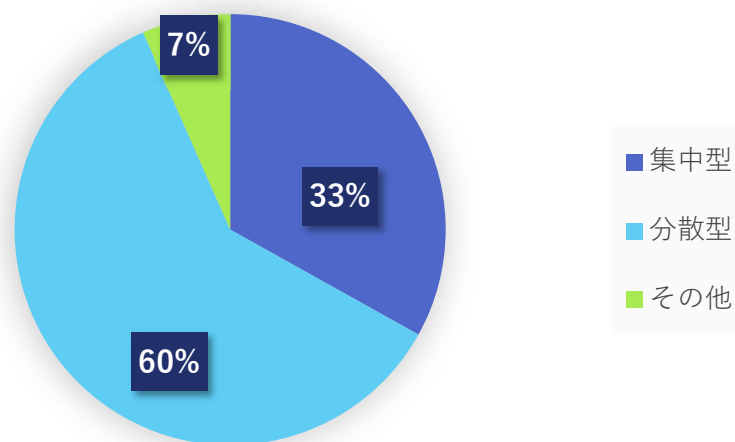
「学生の態度」「消極的な学生への対応」「学生の傾向」「学生の学習レベル」
「学生とのコミュニケーション」「学生と患者とのコミュニケーション」
「学生間の関係」「指導に対する学生の状況」「指導方法」「教員との連携」
「実習評価について」「業務と指導の兼ね合い、負担」「カンファレンス」
「実習生の受け入れ人数」「看護過程を含めた記録物」
「教育カリキュラムに関すること」

以上の16カテゴリーが抽出された



調査結果3

研修の希望形式



例えば、3回の研修であれば「集中型」は3日間連続、「分散型」は1回/月を3回行うことを示す



<分散型を希望した人の曜日・時間の希望>

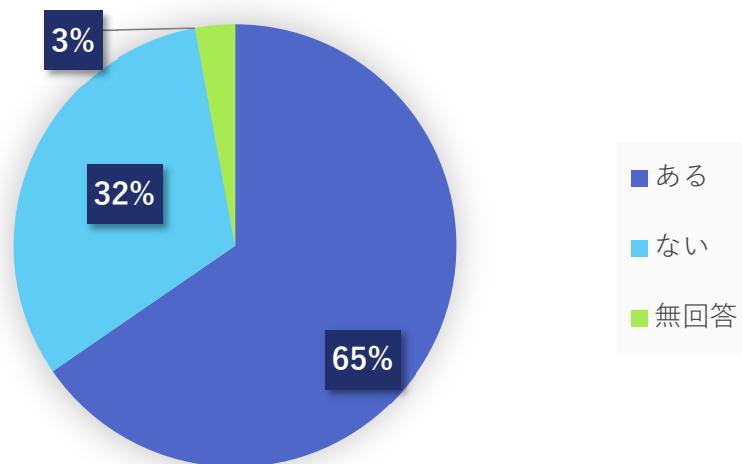
- ・ 平日は18時から2時間程度が多かった
- ・ 土曜日は13時または14時からの2～3時間が多かった



旭川医科大学
看護職キャリア支援センター
Nursing Support Center for Career Development, Education, and Research

調査結果4-1

実習指導者研修の参加希望



<参加希望のない理由>

- ・ 受講経験がある
- ・ 時間的な余裕がない
- ・ 遠い
- ・ 受講したいが自施設の体制が整っていないなど



調査結果4-2 実習指導者研修に参加したい主な理由

「研修受講経験がない、自施設で研修がない」

「知識を得る、深める」

「最近のカリキュラムなど」

- ・ 最近の学生の学内での授業内容がわからない
- ・ 自分が実習をしていた時代とは違い、教え方に戸惑う

「指導者の役割を知る」

- ・ 大学側が実習先の指導者に求めることを知りたい



調査結果4-3 実習指導者研修へ参加したい主な理由

「指導方法を知る」

- ・どのように指導したり促したり質問したらよいかわからない

「最近の学生の動向を知る」

「実習に活かし未来の看護師育成につなげる」

- ・指導する立場として将来のある医療者への確な根拠のある指導をするため

「スタッフ（新人）指導にも活用できる」

「自己研鑽、スキルアップ」



調査結果4-4 実習指導者研修へ参加したい主な理由

「他の病院・指導者の指導方法など情報を得る、情報交換、交流」

- ・ 他の医療機関での実習体験が聞ける交流の場となる
- ・ 悩みも増え相談相手がいない
- ・ 自施設との違いがあるか、参考になるものがあるか知りたい
- ・ 困ったことなど体験談を聞きたい



調査結果5-1 実習指導者研修の主な希望内容

「現代人（学生）の特徴・思考・特性・理解の仕方、社会人基礎力」

- ・ 学生の強み
- ・ 学生は何を望んで指導者から助言を受けたいのか、今の学生の考え方を知る

「学生とのコミュニケーション、関わり方」

「教員との連携」

「基礎知識の再確認、看護展開」



調査結果5-2 実習指導者研修の主な希望内容

「指導方法（動機づけ、精神的フォロー、効果的な方法）」

- ・ 実習生の精神的フォロー、モチベーションのあげ方
- ・ 学生に響く指導方法
- ・ 学生をやる気にさせる声のかけ方、意欲を持って学生が実習できるような指導方法

「指導者へ求めること、役割、学校側の方針」

- ・ 指導する人に必要なことは何か学びたい

